

診療内容

口腔顎顔面外科は、口、顎、顔面に発生する疾患の外科的治療(手術)を行っている診療部門です。口腔外科の最後の砦として口腔癌、口腔腫瘍、顎変形症、顎関節疾患、顎顔面外傷の手術を専門的にを行っています。当部門には以下の学会認定指導医が在籍し診療にあたっております。

- ・日本口腔外科学会認定「口腔外科指導医」・日本口腔腫瘍学会認定「口腔がん指導医」
・日本顎変形症学会 指導医(口腔外科)

口腔がん

口腔がんの診断・治療を行っています。
集学的治療による治療成績の向上を目指しています。治療後の発音・咀嚼・嚥下などの機能障害や審美障害に対しては、関連診療科の協力により、再建手術や顎顔面補綴、摂食嚥下治療を行っています。

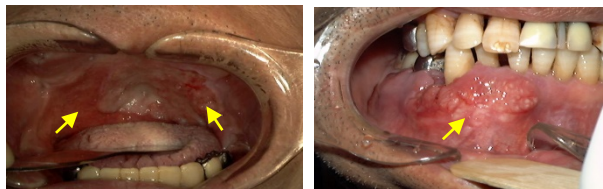
口腔がんがしやすい人は？

口腔がんは主に舌や歯肉、頬粘膜、口底の粘膜にできるがんです。全がんに対する口腔がんの割合は約**1～3%**で、男性に多く、60歳代にピークがあります。喫煙者や飲酒をする人はリスクが高いとされます。

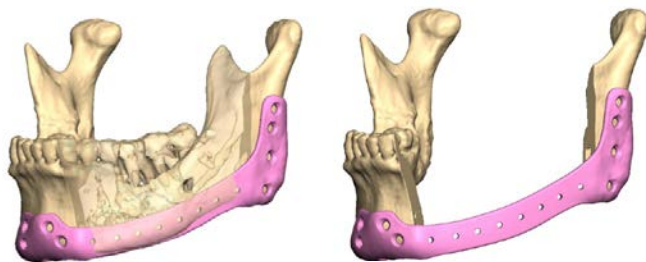
口腔がんの治療方法は？

手術、放射線療法、化学療法(抗がん剤)を必要に応じて組み合わせを行います。術後生活の質を下げないように、軟組織や硬組織の再建術も併せて行います。多くの診療科や部門と連携し、最適な治療を行っています。

口腔がんの初期症状は？

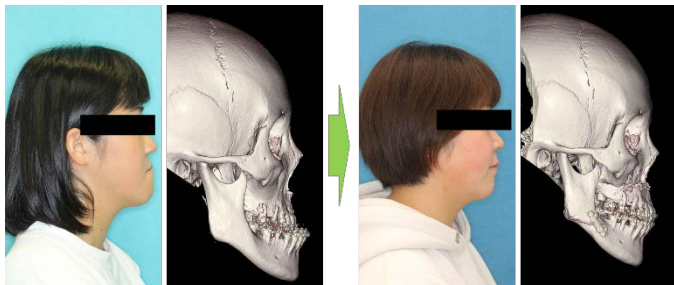


- ・粘膜に**白色**や**赤色**の**まだら模様**がある。
- ・形がいびつな、表面がざらざらとした**しこり**がある。
- ・いつまでも**治らない傷**や**口内炎**がある。

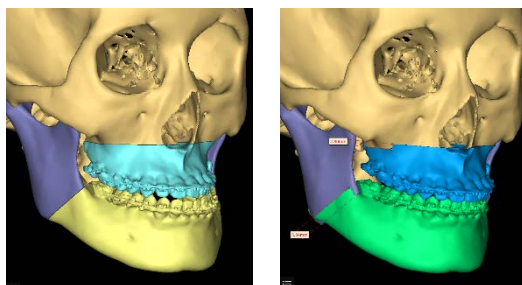


顎変形症

当院および他院の矯正歯科医と連携して顎矯正手術を行っており、年間手術件数の多さは西日本地域有数です。専用のシミュレーションソフトを使用して、手術前に移動量や顔貌の変化をシミュレーションし、機能的にも審美的にも優れた手術を提供します。また、顎の高度な変形に対しては、骨延長法を組み入れた先進的医療を行っています。



左は手術前の横顔写真とCTの3次元データです。受け口を改善するために手術を行い、右のようになりました。



術前にシュミレーションを行うことで、手術時間の大幅な短縮につながり、入院期間も短くなりました。